

第 51 回 放送番組審議会 議事録

令和 7 年 5 月 23 日 (金)
株式会社有明ねっこむ

■第 51 回 放送番組審議会

- 1.開催日時 令和 7 年 5 月 19 日(月)16 時 30 分～
- 2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室
- 3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山 真理子
委員: 大石 教義、松崎 義和、城戸 久信
(出席計 5 名、欠席 1 名)
放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)、
永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)
(出席計 4 名)
- 4.議題 審議番組: 2 月 10 日(月)放送 「さんせつと TANTO 月曜日」
- 5.議事の内容
 - 2 月 10 日(月)に放送した「さんせつと TANTO」放送局から概要を説明。
【放送局】本日お聴きいただくのは、2 月 10 日(月)に放送された「さんせつと TANTO」です。
パーソナリティは、丸田輝久さんとまこパーティさんのコンビでお送りします。
毎週月曜日の夕方 5 時台には、隔週で 2 つの人気コーナー「丸まこコンビの流し酒場」と「昭和レトロ研究所 プラス」が放送されています。今回は、そのうちの「丸まこコンビの流し酒場」をお届けします。
このコーナーは、スタジオを居酒屋に見立てて、丸田さんのギター演奏に合わせて、まこパーティさんが歌を披露するという、ちょっと大人なひとときを楽しめる内容となっています。歌う曲は、リスナーからのリクエスト、まこパーティさんの選曲、そして季節にちなんだ楽曲など、毎回趣向を凝らしています。
それでは、番組冒頭のフリートークから「丸まこコンビの流し酒場」をお聴きください。
 - 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて

放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

- 【 委 員 】特に問題もないような番組ですが議事にかけての理由はありますか？
- 【 放 送 局 】客観的にはどう感じるかなど、運営側で出ない意見等が聴きたい時は特に問題なさそうな内容でも審議にかけたと思っています。
- 【 委 員 】なぜこのタイミングで2月放送を審議にかけたのですか。
- 【 放 送 局 】担当パーソナリティとも話をして一番印象に残っているのがこの日だったことから、2月放送になりました。
- 【 委 員 】歌を披露した後の方から、男性パーソナリティの声が小さくなった気がしましたね。
- 【 放 送 局 】原因として考えられるのは、男性パーソナリティが楽器を演奏した際のボリュームに合わせていたため、トークに戻った際にボリュームのバランスが取れていなかったことかもしれません。
- 【 委 員 】歌もすごく良かった。夕暮れ時に聴くには良い番組と思いました。
- 【 放 送 局 】リスナーからも好評で毎回入念にリハーサルして放送しています。

6. 次回の会議 令和7年7月(日時は未定)

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和7年5月23日掲載)